



## 令和6年度 南九州大学・南九州大学短期大学部入学式 式辞

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。南九州大学・南九州大学短期大学部の教職員を代表して、心よりお祝いを申し上げます。新入生のご家族や関係者の皆様には心からお喜び申し上げます。また、ご多忙の中、ご臨席を賜りました都城市 副市長 吉永利弘様を始め来賓の皆様には厚くお礼申し上げます。

南九州大学および南九州大学短期大学部は、宮崎県内で最初に設立された私立大学として、58年以上の歴史を刻んでまいりました。卒業生は合わせ16,000名を超えており、みなさんの先輩たちが社会の様々な分野で活躍しています。

新入生のみなさん、歴代の先輩たちが作り上げてきたキャンパスの学風や伝統を在学生の先輩たちや私たち教職員とともに維持・発展させ、益々活気のあるキャンパスにしていきましょう。本学には毎年宮崎県内外から新入生が入学してきます。宮崎県出身の方は、慣れ親しんだここ宮崎の地で、そして宮崎県以外の都府県から本学に入学した新入生のみなさんは、「日本のひなた」と呼ばれる温暖な宮崎の地で、宮崎の美味しい食べ物を楽しみながら、自身の目標が達成できるように思う存分充実した学生生活を送ってください。

さて、本学では学科ごとの教育目標に沿った学びや、学科間連携による学びに加え、県内の大学との連携も強化しています。令和4年度には宮崎県内の大学が相互に連携・協力して「一般社団法人 高等教育コンソーシアム宮崎」が設立されました。この「コンソーシアム宮崎」の目的をわかりやすく申し上げますと、県内大学が連携することにより、自治体・産業界の協力も得ながら宮崎の地で学ぶ学生のみなさんがより充実した教育を受けられるようにすることです。

「コンソーシアム宮崎」の取組の一つに、地域の企業・地方公共団体等から、「抱えている課題」を提示していただき、県内の大学生が卒業研究として取り組む「公募型卒業研究テーマ事業」があります。昨年度末に開催された研究成果発表会では、本学人間発達学部子ども教育学科の4年生が綾町からの提案により実施した卒業研究が見事に最優秀賞を獲得しました。令和6年度も宮崎県内の自治体、研究機関、企業から提案された課題に基づく卒業研究が実施されます。

また、都城市を始めとする各自治体と連携しながら学ぶプログラムもあります。新入

生のみなさんには、在学中にキャンパス内での学びのみでなく、地域の課題について積極的に解決していくことにも取り組んでいってください。

大学生活の間には同じ大学で学ぶ者同士はもちろんのこと、あるときは学外の様々な人たちと出会い、グループで一つの目標に向けて取り組む機会があります。考え方や性格などが異なる多様な人たちとチームワークを駆使しながら目標に到達することを目指します。自分と考えの違う人の意見も踏まえながら、直面している課題に対して、最終的には自分で判断を下して立ち向かう「知恵と決断力」を大学生活の中で養っていってください。

さて、これから大学生活を始めるみなさんにもう一点私から言葉を贈ります。

それは情報の管理についてです。高校では令和4年度からプログラミングなどを学ぶ授業科目「情報Ⅰ」の必修化が始まっています。大学では、データサイエンスおよびAIの基礎的な知識を修得し、日常の生活や仕事などで使いこなすことができるようになることを目的として、数理・データサイエンス・AI教育プログラムを進めています。

現代の社会では、身につけた知識を駆使しながら、データから有用な結論や知見を導き出し、データの分析結果や根拠に基づく判断が求められます。様々な情報が飛び交う中で、正しい情報を取捨選択しながら適切な判断をすることも求められます。

みなさんがこれから大学で学ぶ中で、また日常生活において、正しいかどうか定かでない情報を鵜呑みにして、思い込みによる行動を取らないようにしてください。また、正しくない情報を周りの人たちに広めたりすることは避けなければいけません。正しい情報を得ているか検証した上で適切な判断ができるような習慣を身につけてもらえることを願っております。

結びに、新入生のみなさんが、充実した学生生活を送ることができるように、教職員は全力で支援していきます。1年生の今から、「大学を卒業後に自分は社会人として何がしたいのか」ということを常に意識し、その目標に向かって着実に自己研鑽を積んでもらえることを期待しています。

新入生のみなさんにとって、これからの大学生活が、真に実りの多いものとなることを心より祈念して、お祝いと歓迎の言葉といたします。